

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力	・本校における学力調査の正答率は全国平均を下回っており、特に「文章を正確に読み取り、自分の考えを的確に表現する力」に課題がある。 ・言葉の意味理解や語彙の活用が十分でない生徒が一定数いる。	・授業内で小テストを実施して、基礎的知識の定着を図る。 ・ペアやグループでの意見交流活動を取り入れ、文章を正確に読み取り、自分の考えを適切に表現する力を育み、解釈を共有することで思考力の向上を促す。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
社会	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力	・定期考査や小テストなどで基本的な問題に関する正答率は良好であるが、思考力、判断力、表現力を問う問題の正答率が低く、都立の入試問題などの複合的な問題に向き合う力がついていない。	・一斉に知識を教える時間を極力短くし、iPad を利用して自分でまとめたり、発表したりする時間を通して、思考力等の力を伸ばしていく。 ・生徒が自分から学ぼうとするような興味関心をもてる授業づくりを日ごろから怠らないようにする。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
数学	・知識・技能 ・思考力・判断力・表現力	・学力調査の結果、第一四分位数の値が全国平均よりも低いことが明らかとなった。このことから、基礎的な内容の理解が不十分であることや既習事項の定着に課題を抱えている生徒が一定数存在することが分かる。	・授業内で5分程度の確認テストを実施し、基礎的な内容の理解状況を把握する。 ・ペアやグループでの説明し合い活動を取り入れることで、問題の解き方を互いに共有し、新たな視点を得る機会をつくる。また、他者に教える過程を通じて、理解力の深化を図る。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
理科	・知識・技能 ・思考力・判断力・表現力	・学力調査の結果、東京都や全国と比べて平均正答率が低く、得点上位層が少なく、中間層・下位層が多いことが分かった。 ・特に得た知識を活用する能力は課題である。	・理科に対する興味関心を高めるよう身近な自然現象などを多く扱う。 ・基本的な知識、技能の習得のため、授業内での確認テストを单元ごとに実施する。 ・知識を基に考える応用問題を授業内で取り組み、どのように知識を結びつけるか思考パターンを構築する。

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査において、知識を問う問題は正答率が高い。 ・歌唱力の技術は高いが、歌詞の意味を理解しながら工夫して表現する力が課題である。 ・音楽鑑賞において歴史的背景、作曲家の思いを感じながら言葉にする力が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容に合った情景や心情をイメージしたものを可視化（絵）したりしながら自分の思いや意図を声で表現できるようにしていく。 ・自分の思いをより明確に言語化するために、語彙（形容詞）を提示し、それを組み合わせながら言語化できるようにしていく。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作(技能)において、アイデア考察時の発想力の広がり、制作を進めていく段階で薄れていってしまうことが課題である。 ・発想(思考力、判断力、表現力)に関して、インターネットの情報を咀嚼せず、練り上げることができないことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとのワークシートに自分の思いや改善点を毎時間考えて記入して振り返ることで、制作したことを考え、表現方法や技法を考察する。個々の思いが、十分に込められた作品制作を行う。 ・自分の思いをもつことで作者の思いや意図を感じ、豊かな感性をもてるよう相互鑑賞の機会を作る。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 	令和7年度の新体力テストの結果から「ハンドボール投げ(巧緻性)」「長座体前屈(柔軟性)」が課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元により関連して高まる体力を知ることや体力の課題を共有することで、技能向上や体力向上を目指す。 ・ペア活動、グループ活動、タブレット学習を通じて自分の考えをまとめたり、伝えたりする機会を作る。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・思考力・判断力・表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の空間を有効に活用できるものづくりを課題にし、生活に課題のあるものに対して、改善する意識が低下しているのが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の導入部分で、身近な生活の課題や最適な環境づくりを見本とし、改題発見、課題解決への糸口とする機会を与える。

令和7年度 授業改善推進プラン

外国語（英語・国際）	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を積極的に話し、聴き、相手とコミュニケーションをとる態度を養う。 ・英語の基礎的な文法を理解し、語彙力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にコミュニケーションをとる機会をいかに増やし、どのように評価するか。 ・基本的な語彙力、文法能力の定着が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・即興でスピーキングする機会を増やし、間違えても構わないという雰囲気を作全体に作る。 ・スピーキングを中心とした語彙力、文法力の向上を目指す。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的・多角的に物事を考える力。 ・他者を思いやる心と公正・公平な判断力。 ・よりよく生きようとする意欲と実践力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言や振り返りから考えを深めることに課題がある。 ・記述式評価の工夫に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動や役割演技を取り入れる。 ・心を動かす教材選び（実話・映像など）。 ・学年や校内で教材や評価の共有・研究を行う。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 ・人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な言葉遣いや、他者との適切な向き合い方などがまだ十分でない生徒が多く、自主的、実践的な態度の育成に課題がある。 ・SNSなどの影響によって、自分を律して学習に向き合うことができないことに加え、必要以上に他者の評価を気にしてしまうことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 端末を活用しつつ、他者との意見交流やコミュニケーションをとる時間を増やし協働して課題に取り組む成果につながる時間を増やす。 ・情報モラルの扱いや適切な SNS 等の向き合い方に関する指導を今まで以上に徹底し、キャリア教育の充実も図りながら、望ましい自己形成の仕方を教えていく。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力。 ・社会的なものの見方・考え方を身に付け、考察した内容や過程、学習の成果を表現する能力。 ・問題解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む意欲・態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT の活用について、安易な引用やAI 使用にならないようにする。 ・協働的な活動において、他者任せにしたり、役割や分担に意欲をもたなかったりする生徒が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な活動なので、全教員が協力して指導・支援する。 ・ICT 活用や情報活用等を通してプレゼンテーション能力の育成を図る。 ・達成感や成就感からさらなる学習意欲を喚起させるとともに社会参画の精神を育成する。